

高等学校公民科（倫理）採点基準

2枚のうち1

【注意】問題によっては、部分点を可とする。

問題番号	正 答	[例]	採 点 上 の 注 意	配 点
1	1	2		6
	2	3		6
	3	1		6
	4	5		6
	5	4		6
	6	3		6
	7	2		6
	8	2		6
	9	10		6
	10	1		6
	11	3		6
	12	3		6
2	1	3		8
	2	2		8
	3	4		8
3	1	5		8
	2	4		8
	3	5		8
4	1	3		8
	2	3		8
	3	1		8

高等学校公民科（倫理）採点基準

2枚のうち2

【注意】問題によっては、部分点を可とする。

問題番号	正 答	採 点 上 の 注 意	配 点	
5	<p>社会的事象等を倫理、哲学、宗教などに関わる多様な視点（概念や理論など）に着目して捉え、人間としての在り方生き方についての自覚を深めることに向けて、課題解決のための選択・判断に資する概念や理論などと関連付けることであり、考察、構想する際の視点や方法（考え方）。</p>	<p>内容を正しく捉えていれば、表現は異なってもよい。</p>	12	
6	1	<p>資料Ⅰのとおり、カルヴァンは、職業は神から与えられた神聖な任務であり、各人の世俗の職業生活は神の栄光を実現するための場所（持ち場）であるから、そこで禁欲的に精進することが「召命」として。この職業召命観が人々のうちに実直、勤勉、禁欲などといった新たな職業倫理を根づかせることとなった。ウェーバーは、この職業倫理が利益を生産的に運用しようとする近代資本主義の経済的・合理的精神の成立に影響を与えたと考えたため。</p>	<p>内容を正しく捉えていれば、表現は異なってもよい。</p>	10
	2	<p>資料Ⅱのとおり、荻生徂徠は孔子の説いた「道」とは上古の聖王たちが定めた道、すなわち「先王の道」として。徂徠はこの「道」を礼楽刑政という、全て先王が確立したものをとりあげ、一括して名付けたものであり、礼楽刑政を離れて他に「道」はないとして、江戸時代の朱子学が説く、天地自然のままの「道」ではないと批判した。また、伊藤仁斎の説く「誠」とは聖人の徳の1つであり、聖人の「道」の一部分にすぎず、その全てを表現するにはどうい十分なものではないと批判した。</p>	<p>内容を正しく捉えていれば、表現は異なってもよい。</p>	10
7	<p>まず、資料Ⅱを用いて、この絵の胡蝶や寝そべっている老人の様子やイメージについて考えさせた上で、次に、資料Ⅱの絵の基になったのが資料Ⅰであると説明し、資料Ⅱで考えたことを踏まえて資料Ⅰの内容を読み取らせる。読み取ったことを全体で共有するとともに、必要に応じて教師が発問した上で「物化」とはどのようなことなのかを考えながら資料Ⅰを読ませる。これを通して「物化」とは1つの物が他の物に変わることであり、そこには一と他の差別があるが、世間の常識でのことであり、全てを斉しいとみる立場から見れば、自分と他者の区別がないのであるから、胡蝶はそのまま荘周であるということ捉えさせる。こうして、「道」の立場から見れば、万物には区別や差別ではなく、全てがみな斉しいとする万物斉同の考え方を理解させる。</p> <p>さらに、資料Ⅲを用いて、生徒にこの大学生の悩みに対して、万物斉同の考え方を基にアドバイスを書かせ、「自分と他者などの区別する（比較する）ことなく、あなたらしく、ありのままの自分で」という指摘をした上で、アドバイスを行っているかを評価することで、万物斉同の考え方の理解があるかどうかを確認する。</p>	<p>問いを正しく捉えていれば、内容は異なってもよい。</p>	24	